

# 透排水性改善！ほ場のつくりかたマニュアル

なぜ、透排水性改善が必要なのか？

水はけの悪いほ場



- ▲大雨で作物が水没する
- ▲土が硬く、根張りが悪い
- ▲作物の生育が悪く、収量が落ちる
- ▲雨後すぐほ場に入れないと作物が病気になりやすい etc…

水はけの良いほ場



- 大雨でも滞水しない
- 土が軟らかく根張りが良い
- 作物の生育がよく収量が多い
- 雨後すぐほ場に入りやすい
- 作物が病気に強い etc…

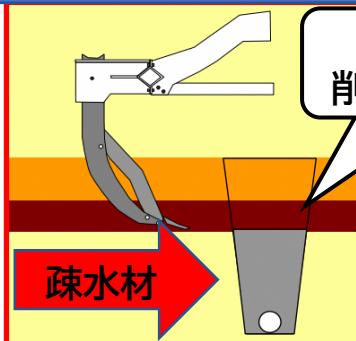
ほ場の透排水性は  
**「効果的にパラソイラ・サブソイラ等の心土破碎」**  
を行うことで劇的に改善されます！

施工時のポイントは**3つ**！  
まずは1筆トライしてみてください！

ポイント① 施工時は土壤水分に注目



## ポイント② 施工時の機械を入れる深さに注目



心土破碎・サブソイラ等の施工深度は  
暗渠疎水材の直上まで！

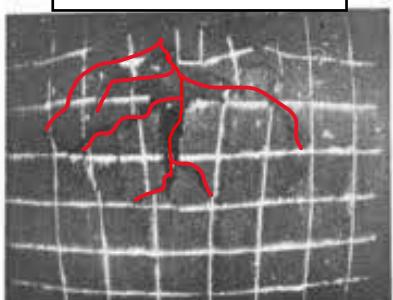
※疎水材を削ると水はけが悪化するため

## ポイント③ 施工時の速度に注目



速すぎる

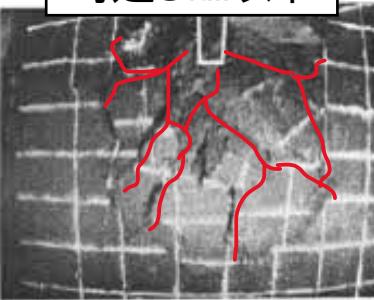
時速7km以上



ヒビは小さく  
埋まりやすい

適正

時速3km以下

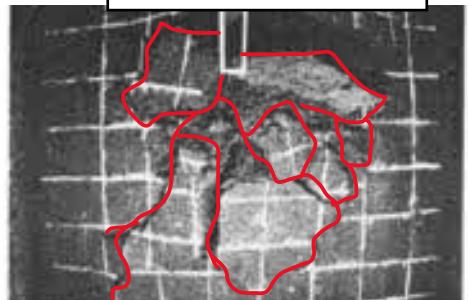


ヒビが広く入る



ゆっくり

時速1km以下



ヒビが広く深く入る

## まとめ

施工時の土壤水分が適正で速度がゆっくりなほど施工効果は長持ちします

土の乾き具合を  
確認

土を握って  
開いても  
崩れるくらい



施工深度を  
確認

暗渠疎水材の  
上まで



施工速度を  
確認

人が歩いて  
ついて行ける  
くらい



事例

施工時の土壤水分と施工効果～R7年剣淵の事例より～

硬

土壌水分が高いほ場



軟

浅

土壌水分が最適なほ場

施工前  
施工52日後

土壌水分が最適な  
状態で施工すると、  
52日経っても  
効果が続いた！

深

浅

深

令和7年12月発行

上川農業改良普及センター士別支所 地域第2係 TEL:0165-23-1181